

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 5 年 11 月 1 日

事業所名 コペルプラス柏教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容 又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7			・適切な定員で、訓練スペースを確保し療育にあたっております。
	②	職員の配置数は適切である	7			・国が定めた基準を満たし、基準以上の人員を配置しています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	7			・ご利用者様の個性や特性に応じて合理的配慮や支援が行えるよう配慮しています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7		・日々の清掃を実施。 大きな怪我を防止するためにジョイントマットを使用。	・感染症対策を徹底するとともに、療育活動に合わせた環境整備を行っています。 ・清潔を保てるよう、清掃も随時徹底して行っております。
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	7		・業務の最善化、効率化を目指し、職員間で話し合いの機会を設けている。	・自治体主催の PDCA 研修を受け、業務改善を実施しています。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7		・いただいたご意見に関して職員全員が把握している。評価内容については話し合ったうえで業務改善を行い職員間で共有している。	・保護者向け評価表の集計結果を従事者全員に周知し、話し合いの場を設けています。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7		・自己評価表および保護者向け事業所評価表は、事業改善に役立terると共に、ホームページにて公表している。	・集計結果におきましては、柏市への届け出、HP での公開を行っております。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		7	・自治体による指導を受け業務改善に役立terているが、その他の第三	・第三者評価実施は行っておりません。今後、導入について検討していく予定です。

				者をたて外部評価を受ける機会を設けていない。	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	・職員一人一人の専門性がさらに充実するよう、定期的な研修やスキルアップの為に勉強会を実施している。	・幅広い情報の獲得を目指し、社内外研修を実施しております。 ・全員研修の他に、数名で参加した研修に関しては、全職員に対しての伝達研修を行っています。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7	・保護者様に聞き取りを行い、ニーズや課題を分析しながら支援計画の作成を行っている。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	・標準化されたアセスメントツールを使用している。	・コペルメソッドに沿ったツールを使用しています。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7		・児童発達支援ガイドラインに内容則り、お子様の状況や発達に合わせた具体的な支援を設定しています。

	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7	・支援計画に副った支援が行えるよう、カンファレンスの場を設け、毎回の療育の度に職員間で確認している。 ・療育前に個別支援計画でお子様の目標の確認と、前回療育の確認を実施している。	・児童発達支援計画の内容から逸れた療育支援とならないよう、管理体制を整えています。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	・カンファレンス会議において、レッスンの取り組み内容を考えている。	・個別支援計画に則り、職員間で話し合いプログラムを具体化しています。また、月末に行われるコミュニケーション

				・コミュニケーショントレーニングレッスンや、小集団レッスンなどの立案をチームで行っている。	ントレーニングの内容をチームで企画し実行しています。
⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7		<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者様個々の発達に応じて、保護者様と相談をしながらプログラムの変更・追加を行っている。 ・ご利用者様の興味は様々なので、療育内容が固定化されないように工夫している。 ・職員間でその都度状況を報告し、ステップアップしていくことも大切にしている。 	・お子様のご成長はとても早く、プログラムの変更や追加はなくてはならないものです。今後も、発達段階を把握しながら、柔軟な支援変更、追加を行ってまいります。
⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	7		・お子様の様子に合わせて個別レッスンや集団レッスンを組み合わせて支援計画を作成している。	・お子様のご状況に合わせ、個別プログラムと集団プログラムを適宜ご提案、ご提供しております。
⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7		<ul style="list-style-type: none"> ・職員間の打ち合わせを徹底し、毎回必ず確認している。 ・朝礼時には、その日に来所されるお子様の支援や配慮点を職員で確認する時間を設けている。 	・支援開始前だけに限らず、日頃からお子様のご様子や支援目標の確認を心がけています。事前に、職員の役割分担、動き方の確認なども行っています。
⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7		<ul style="list-style-type: none"> ・支援終了後、業務報告を行い、課題等見直す時間を作っている。 ・支援終了後は、小さな気づきや変化も職員間で共有し、記録をとっている。 	・お子様が達成できている取り組みの報告や、保護者フィードバックでの内容を踏まえ、次回以降の療育の方向性などを共有する時間を大切にしています。

関係機関や保護者との連携	⑱	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7		<ul style="list-style-type: none"> ・レッスンの内容やお子様の様子については、紙媒体、およびデータ上で記録している。 ・個別記録を活用し、療育内容や支援の検証を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別療育支援では担任制をとっていないこともあり、職員間の共有や引き継ぎを特に大切にしています。紙媒体、データの記録などが常に確認できるようになっており、支援を統一化できるよう努力しています。
	⑲	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的実施しているモニタリングは対面談形式で行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・その都度変化するお子様の様子や保護者様のニーズを受け止め計画の見直しを行っています。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7		<ul style="list-style-type: none"> ・サービス担当者会議が実施される場合は、相応しいものが参画している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援事業所と連携を図りながら、サービス担当者会議に参画しています。
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	7			<ul style="list-style-type: none"> ・医療との連携も大切にしています。
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	-	-	<ul style="list-style-type: none"> ・現在該当児童なしだが、今後通所される場合は、関係機関と連携を図っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 該当無し
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	-	-	<ul style="list-style-type: none"> ・現在該当児童なしだが、今後通所される場合は、関係機関と連携を図っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 該当無し
	㉔	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者様の承諾のもと、各園と情報共有し、相互理解を図っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スムーズな移行を目指し情報共有を行っております。
	㉕	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7			<ul style="list-style-type: none"> ・スムーズな移行を目指し情報共有を行っております。

	⑳	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7		・各機関に相談し助言を受けることで、ご利用者様に正しい情報を提供できるよう心掛けている。	・よりよい情報をご利用者様にお伝えすることができるよう、連携を継続してまいります。
	㉑	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	7			・現在、コベルプラスのプログラムでは、ご利用者様が直接、他施設の子どもたちと交流する機会は設けておりません。

保護者への説明責任等	㉒	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	7		・機会があれば積極的に参加している。	・積極的に参加をし、多くの情報を収集しています。
	㉓	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7		・療育をご覧いただいている時間には、園やご家庭での様子をうかがう時間を大切にしている。	・療育時間以外のご様子も、支援をするにあたって大切な情報となります。日頃から保護者様とお子様のご状況を共有させていただきながら支援内容についてもご説明しご理解いただいております。
	㉔	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	7		・プログラムとしての実施はないが、ペアレント・トレーニングを意識した相談業務を行っている。	・お子様の日頃の様子で、どのように対応しようか迷われていることがございましたら、いつでもお声がけください。一緒に考えていきましょう。
	㉕	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7		・利用者負担等については契約時にご説明し、運営規程に関しても教室で常時閲覧可能としている。	・全ご利用者様に丁寧な説明が行き渡るよう、より工夫してまいります。
	㉖	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7		・支援計画立案の前に保護者様との面談を必ず設けている。また、支援計画書の内容についてもご同意いただいたうえで療育訓練にあたり	・支援内容や個別支援計画書の内容に関してはその都度ご説明をしておりますが、ご不明な点がございましたら、いつでもお問合せください。
	㉗	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7		・定期的に相談業務を実施。適切な助言と支	・レッスン中に保護者の皆様へお声がけをしておりますが、少しでも気になる

				援ができるよう努力している。	事がありましたらお気軽に近くの指導員へお声がけください。
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	7		・現在、保護者会等の実施はありません。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7	・保護者様からのご要望や申し入れ、相談等に迅速に対応できるよう業務にあたっている。	・ご相談やお申し入れに関しては迅速に対応できるよう努めております。気になる事がございましたら、いつでもお声がけください。
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	・毎月1回の「会報コペルン」の発行、および諸連絡通達のためLINEの一斉メールを活用中。	・LINE@では今後も大切な情報を発信させていただきますので、確認をお願いいたします。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	7	・徹底管理をしている。 ・個人情報に関しては、鍵付き書庫で保管。退勤時には施錠確認を実施している。	・個人情報が含まれるものに関しましては、鍵付き書庫へ保管し、事務所の施錠も徹底しております。個人情報が含まれる書類に関しましては、廃棄する際必ずシュレッダー処理しております。
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	・障害特性に応じて視覚化された情報を提供している。 ・環境による刺激を最低限にしながら、集中して療育訓練を受けられるよう整備している。	・口頭だけではお伝えしきれない情報は、書面や掲示、ウェブマイページや一斉LINE等で伝達できるよう工夫しております。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	7		・現在、地域住民との交流プログラムの実施はありません。
非常時等の対応	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7	・各マニュアルを整備し、事業所でいつでも閲覧可能としている。緊急時対応、感染症対策など、職員間で研修・訓練を行っている。	・全ご利用者様に、各マニュアルの整備についてご案内できるよう引き続き工夫してまいります。

④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7		<ul style="list-style-type: none"> ・毎年5月、11月に防災訓練を実施し、11月の避難訓練(実際の避難場所までの移動訓練)には全ご利用者様にご参加いただいている。 ・訓練では、職員の役割確認、利用者様の誘導・救助確認、避難時持ち出し袋の確認等実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・非常災害時用に、救急セットや保存水の確保、マスクや手袋などを常備しております。 ・年2回の訓練では、避難訓練、消火訓練、通報訓練、不審者対応訓練等を実施しています。
④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7		<ul style="list-style-type: none"> ・初回アセスメント時に実施。所定の書類に記載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・てんかん等に関しましては、緊急時の対応や医師からの指示などをご報告いただきますようご協力をお願いいたします。
④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7		<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内での食事提供はないが、アレルギーについて聞き取り、把握を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規ご契約時に、アレルギーに関してのご記入をいただいております。対応を徹底しておりますので、ご協力をお願いいたします。
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7		<ul style="list-style-type: none"> ・事業他事業所の事例を毎月確認している。また、事業所内で発生した場合は記録に残し、職員間共有・改善を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月、全国のコベルプラス教室から本部に報告をあげるシステムになっており、集計した事例を従事者全員で把握できるよう努めております。
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7		<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止研修に必ず参加し、職員間でも伝達研修を徹底している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内で虐待防止委員会を設置しております。また、毎年度必ず、県開催の虐待防止研修を受講しております。
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	7			<ul style="list-style-type: none"> ・組織的に決定した事項を、契約時にご説明し、ご同意書をいただいております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。